

令和 6 年度 教職員研修の基本方針及び重点事項

「ナゴヤ子ども応援大綱」、「名古屋市教育振興基本計画」、「ナゴヤ学びのコンパス」及び「名古屋市教員育成指標」を受け、令和 6 年度教職員研修の基本方針及び重点事項を定めた。

【令和 6 年度 教職員研修の基本方針】

教職員一人一人が主体的に学び続けることができるよう、教員育成指標に位置づけた資質・能力を基にした研修を充実・整備することを通して、研修の促進・補完に寄与する。

〈促進するために〉

教職員にとって必要な資質・能力を教員育成指標を活用して自己分析できるようにし、強みを伸ばし弱みを改善するための研修の充実を図る。

〈補完するために〉

教職員のニーズや業務状況によって、対面や I C T による効果的・効率的な研修を実施できる体制の整備を図る

令和6年度 研修の重点事項

■ 「子ども中心の学び」の実現に向けての研修

「子ども中心の学び」において重視したい学びの姿である「夢中で探究する」「自分に合ったペースや方法で学ぶ」「多様な人と学び合う」を実現するために、基本研修や専門研修で、多くの教職員が「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実した授業へと改善することができるようにする。

■ ウェルビーイングを感じられる居場所となる集団づくりに向けての研修

生徒指導や教育相談の今日的課題に対応するために、基本研修や専門研修で児童生徒理解を深め、改訂された生徒指導提要に基づく集団指導、個別指導を行うことで、子どもが安心して過ごすことのできる居場所となる集団づくりができるようにする。

■ 学びの多様性に対応できる校内支援体制づくりに向けての研修

連続性のある多様な学びの場における指導や支援を充実させるために、子どもの特性を理解し、その特性に応じた支援の在り方についての知識や技能を高め、多様な教育的ニーズに対応できるようにする。

■ 教職員一人一人のニーズや今日的な教育課題に対応した研修

研修効果を高いものにするために、一人一人のニーズに応じることができる所員派遣を拡充したり、経験年数の長い教職員が学び直しすることができる機会を用意したりすることで、教職員全体が学び続けることができるようにする。また、講義型の研修をオンデマンドに変更したり、研修コンテンツを充実したりすることで、必要な時に資質・能力の向上に努めることができるようにする。